

発行：H30.2.26

例年になく寒さが厳しく感じられた冬でした。インフルエンザなどもまだ流行している状況です。手洗い、うがいなど日常の健康管理を忘れずに行い、毎日の生活が充実するよう過ごしましょう。

## 本人部会活動特集

「本人部会とは」本人が主体的に活動に取り組むことを支援し、社会参加に資するための基盤づくりをする取り組みです。

これまで、ミュージカルなど東京に出向いて観劇などの貴重な経験を積むことができました。

近年、「自己選択、自己決定」が言われるようになり、本人部会でもどんな活動を行うか、ご本人にも会議に参加してもらい、意見を尊重しつつ活動する取り組みを始めたところです。平成28年度は岡倉先生、黒須先生を招いての「ふれあいコンサート」を、今年度は障害者スポーツと石川先生を招いてアフリカンダンスを行いました。

平成28年度の活動の一コマから



活動に先立って、会の名称を「ひまわりの会」と決定しました。また会長には斉藤卓也さん(宇都宮)を選出し、会の進行やあいさつ、お礼など参加者で分担しながら、自覚と責任をもってご本人さん主体で活動の運営に当たりました。

平成29年度の活動の一コマから



2年目の取り組みで、十分に支援するまではできていませんが、今後はボランティアを募ったり、規約をつくるなど斉藤会長さんを中心に参加会員と話し合いながら、「ひまわりの会」が一層充実し、楽しい活動ができるよう支援したいと考えています。終了後の感想では、「また参加したい」、「ダンスが楽しかった」、言葉少なくてもにこやかな笑顔や額に汗した表情から充実感や満足感をもってくれたかなと受け止めました。「ひまわりの会」はご本人主体の集いです。多くの方の参加をお待ちします。仲間との体験をしてみませんか。

## 相談会・研修会開催事業から

県委託事業の相談会・研修会(旧家族教室)は今年度から4地区4会場で行うようになりました。実施に当たり、開催地区とも相談しながら育成会活動の課題となっている、高齢化、障害の重度化、親亡き後、権利擁護、差別解消などについて講演会、その後の質疑応答を行いました。★日光市ではすぎなみき会峯山理事長さんなどから「これからの障がい福祉と利用について」と題して、日光市に開設した県内3番目の地域生活支援拠点「すぎなみきタウン」の施設概要について丁寧に説明いただきました。特に、緊急時の対応や利用体験の機会、相談支援などに関心が寄せられました。★佐野市では親亡き後相談室主宰の渡部伸さんを招いて親亡き後の課題である、お金に困らない準備、生活の場、日常生活のフォローなどについて制度面だけでなく実例の紹介などきわめて関心の高い内容のお話があり、多くの質問がありました。★宇都宮市ではご存知の又村あおいさんを招いて「選んで使おう制度や福祉サービス」についての講演会でした。私は残念ながら参加できませんでしたが、何度かお聞きしたことがあり、私のような素人でもとても分かりやすいお話で、だったらこの制度を利用してみようか、まず相談支援専門員に相談してみようかという気持ちにさせてしまう雰囲気があります。★上三川町では昨年引き続き筑波大学の太田美保さんを招いて「障害者が地域で生活するための制度活用」について、障害者を支える仕組みの概要からお金(収入)のこと、高齢期を見据えてこれから準備することなど、具体的なデータとともに、上三川町の話も盛り込みながら丁寧にお話いただきました。その後の相談にも気さくに対応してくださいました。是非、研修に参加された方には、他の会員さんに内容などお伝えください。お世話になりました。

## ＝ 編集後記 ＝

今年度は何とか「かわら版」を定期的に発行することができました。ご覧いただいたの感想やご意見、ご要望など伺いたいと思っています。今後も身近な話題や関心事をお伝えできればと思っています。(事務局)